

教 育 長 室

令和6年第4回港区議会定例会の質問について
(教育長答弁)

代表質問 (19 問)

ゆうき くみこ議員 (自民党議員団)

- 2 誰でもこども園構想について 【学務課】
- 4 政策運営について
- (1) スポーツ大会やスポーツイベントへの支援について 【生涯学習スポーツ振興課】
- (2) フリースクール、インターナショナルスクールなど、
多様な学びを支援する取組について
- ア 多様な学びの支援に関する具体的な施策と既存施設との連携について 【教育指導担当】
- イ 区民への情報提供の強化とさらなる啓発活動の必要性について 【教育長室】

玉木 まこと議員 (みなと未来会議)

- 2 弓道場について 【生涯学習スポーツ振興課】
- 12 教育について
- (1) スクールカウンセラー等の待遇改善について 【教育指導担当】
- (2) エレベーターのない学校への対応について 【学校施設担当】
- (3) 通学路の安全対策について 【学務課】
- 13 高輪築堤5・6街区について 【図書文化財課】

とよ島 くにひろ議員 (維新・参政・Noblesse Oblige)

- 3 教科書について
- (1) 国が定めた方針の実践について 【教育指導担当】
- (2) 日本が世界最古の国であることを取り扱うことについて 【教育指導担当】
- 7 御田小学校におけるスクールバスの使用について 【学務課】

野本 たつや議員 (公明党議員団)

- 7 都立学校施設の開放に向けた働きかけについて 【生涯学習スポーツ振興課】
- 8 活字を読む機会の重要性とその確保について 【教育指導担当】
- 9 学校給食に国産食材を活用することについて 【学務課】
- 10 学校給食の適正な食事時間の確保について 【教育指導担当】
- 11 子どもの幸福度向上と権利教育の充実について 【教育指導担当】

山野井 つよし議員（立憲民主党議員団）

12 幼稚園の魅力向上策について

【学務課】

13 不登校の子どもへの支援について

【教育指導担当】

一般質問（13問）

ませ のりよし議員（自民党議員団）

2 海外派遣、中学校英語発表会の情報共有について

【教育人事企画課】

うかい 雅彦議員（自民党議員団）

2 文化財についての教育委員会の考え方について

【図書文化財課】

琴尾 みさと議員（みなと未来会議）

2 区立幼稚園について

（1）利用率の実態を踏まえた今後の方針について

【学務課】

（2）子育てサポート保育の時間延長について

【学務課】

3 幼稚園型認定こども園の設置について

【学務課】

4 日本語学習機会の拡充について

【教育人事企画課】

6 児童の登下校について

（1）副籍交流を行っている学校への通学支援について

【教育指導担当】

（2）小学校の登下校の安全見守りシステムについて

【学務課】

根本 ゆう議員（維新・参政・Noblesse Oblige）

2 区における「海洋教育」について

（1）港区全体での「海洋教育」実施について

【教育指導担当】

（2）海洋教育において領土を扱うことについて

【教育指導担当】

福島 宏子議員（共産党議員団）

6 人工芝のマイクロプラスチックの流出抑制について

（1）区立の運動施設でも流出抑制対策を実施することについて

【生涯学習スポーツ振興課】

（2）人工芝の使用について

【学校施設担当】

13 貸付型奨学金の返済免除について

【教育長室】

令和6年第4回港区議会定例会の質問について

代表質問(19問)

議員名(会派名)	ゆうき くみこ議員議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	2 誰でもこども園構想について 【学務課】
質問要旨	幼稚園の預かり保育の拡大について、来年4月には、どこまで変わるのか。また、認定こども園の設立はいつ頃を予定しているのか伺います。
答弁内容	令和7年度には、にじのはし幼稚園で試行的に、預かり保育の実施時間を30分延長し、午後5時30分までとするとともに、春季休業中の一時預かり事業を開始する予定です。 また、今年度内に、外部有識者や公私立幼稚園代表者等を交えた検討会を設置し、にじのはし幼稚園の実施状況も踏まえ、利用者ニーズや時間延長に伴う幼児への影響等を検証しながら、今後の幼稚園教育振興の具体策を検討してまいります。
質問項目 【担当課】	4 政策運営について (1)スポーツ大会やスポーツイベントへの支援について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	今後も区民が主体的に行うスポーツ大会やスポーツイベントへの補助事業を継続し、区として支援していくべきと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	これまでスポーツ活動レガシー推進事業補助金を活用した地域団体等からは、「多くの子どもたちに競技を楽しんでもらえた」、「スポーツを通して参加者同士が活発に交流できた」といったご意見をいただいております。 現在の補助事業は3年間の臨時事業のため、今年度で終了しますが、これまでの支援の実績や効果を踏まえ、区民等が主体的に実施するスポーツ大会やスポーツイベントへの来年度以降の支援策について検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)フリースクール、インターナショナルスクールなど、多様な学びを支援する取組について ア 多様な学びの支援に関する具体的な施策と既存施設との連携について 【教育指導担当】
質問要旨	港区内のフリースクールやインターナショナルスクールなどに通う児童・生徒や、その保護者を支援するために具体的にどのような施策や計画を進めていくのか具体例を含め、伺います。
答弁内容	教育委員会では、各学校に対しフリースクールに通う児童・生徒の通学や生活状況を保護者や関係教員と共有し、学習状況に応じて出席と認めるよう指導しております。 さらに、東京都のフリースクール等利用者支援事業助成金を受給する保護者に対して、区独自に助成金の支給を検討しております。 また、各学校に対して、在籍する児童・生徒がインターナショナルスクールに通学した場合には、保護者を通して学びの状況を把握し、学校だより等で在籍校の取組を伝えるよう指導しております。引き続き、教育委員会では、様々な場で学ぶ児童・生徒の学習の保障を積極的に進めてまいります。

質問項目 【担当課】	イ 区民への情報提供の強化とさらなる啓発活動の必要性について 【教育長室】
質問要旨	区民の中には多様な学びについて十分な情報が得られず、利用を検討する機会を逃している方もいると考えられる。このような課題を解消するため、情報提供の強化やさらなる啓発活動の必要性についての考えを伺います。
答弁内容	保護者や児童・生徒の皆さんが多様な学びを選択できるようにするためには、啓発活動が必要と考えております。 一方で、フリースクールやインターナショナルスクールなどでは多様な状況、あるいは規模、運営方法等も様々であり、区として実態を把握できていないのが現状でございます。 まずは、港区内にあるフリースクールやインターナショナルスクールなどの実態把握を行ってまいります。また、把握した情報について、適切にお届けできるよう、情報提供の強化に努めてまいります。

議員名(会派名)	玉木 まこと議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	2 弓道場について 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	スポーツセンター武道場3の利用者について、弓道年間8,700人に対し、アーチェリーは約1/4の1,200人ほどしかない。昨年実施した学校施設開放予約システムの導入に伴う利用者適正化により多くの団体が活動日の変更・縮小している。アーチェリー利用者にも弓道のこうした状況を理解いただき、早急にスポーツセンター武道場3の利用方法を見直すべきと考えるが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	港区スポーツセンターの武道場3については、弓道とアーチェリーで年間利用者数に差はあるものの、100%に近い稼働率となっております。 このため、現在は利用者枠の数に偏りが出ないように調整することにより、両競技の利用者のご理解をいただいております。今後も、利用者と意見交換をしながら、施設の有効活用に努めてまいります。 また、新たに予定している弓道場の開設時には、武道場3の利用者数の推移や利用者の意見を踏まえ、利用方法について検討してまいります。
質問項目 【担当課】	12 教育について (1)スクールカウンセラー等の待遇改善について 【教育指導担当】
質問要旨	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの方が希望ある将来設計を描けるよう、業務委託によって派遣するのではなく、名古屋市のように常勤配置かつ任期の定めのない定年制の職員として採用することが望ましいと考えますが、待遇改善の視点も踏まえた教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置には、不安や悩みを抱える児童・生徒などの心のケアに加え、緊急対応や急遽の欠員などにも迅速に対応することができる業務委託が適していると教育委員会では考えております。 定年制の常勤職員を採用することは予定しておりませんが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、一人ひとりの待遇に対する意見を聴取した上で、必要に応じて待遇改善に向けた業務委託の仕様書の見直しを検討してまいります。

質問項目 【担当課】	(2)エレベーターのない学校への対応について 【学校施設担当】
質問要旨	エレベーターのない学校に対する車椅子対応の昇降装置や車椅子用階段昇降機の設置の可能性について、また、エレベーターの早急な設置が困難な学校については、日々の教育活動における荷運びの負担軽減のため、至急、軽量電動階段台車を配備すべきと考えますが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、各学校施設について公共施設マネジメント計画に基づき、バリアフリー化を含めた改修を計画的に進めており、現在は、麻布小学校へのエレベーター設置に向けた基礎調査を完了し、来年度から設計を行う予定です。 改修工事によりエレベーターの設置が困難な学校については、建物や敷地の状況を踏まえ、車いす対応の昇降装置や車いす用階段昇降機の設置を検討してまいります。 また、学校が必要とする場合には、荷運び負担軽減のための軽量電動階段台車を配備してまいります。
質問項目 【担当課】	(3)通学路の安全対策について 【学務課】
質問要旨	通学路上の工事現場については、工事の情報をいち早く受け取る部門と教育委員会・学校が連携し、通学路上の工事現場の安全確保に取り組んでいただきたいと考えるが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	教育委員会では、通学路の安全に配慮すべき大規模開発工事等が実施される際には、街づくり部門等と連携し、工事車両の通行ルートや、歩道を横切る車両の出入り口への誘導員の配置など、事前に事業者へ対策を要請しております。 また、事業者に対して、学校にも直接情報提供し、学校が示す懸念や要望に対応するよう要請しております。 引き続き、児童の安全確保のために、教育委員会と学校が連携して取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	13 高輪築堤5・6街区について 【図書文化財課】
質問要旨	港区及び高輪築堤調査・保存等検討委員会は、5・6街区については現地保存と築堤があること前提とした基本計画を求めています。現在の有識者検討会議での議論の経過をお聞かせください。
答弁内容	現在、高輪築堤の継承のあり方として、現地保存に加え、移築保存の可能性についても議論されている状況です。 次に、5・6街区の高輪築堤の現地保存を前提とした基本計画策定を求めることについてです。 教育委員会では、令和3年5月に、5・6街区について、築堤の現地保存を考慮した開発計画を策定するよう、JR東日本に要望書を発出しております。引き続き、高輪築堤跡を後世に継承していくため、事業者であるJR東日本をはじめ、文化庁、東京都教育委員会等の関係機関と連携して取り組んでまいります。

議員名(会派名)	とよ島 くにひろ(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	3 教科書について (1)国が定めた方針の実践について 【教育指導担当】
質問要旨	教育委員会は、本当に国が定めた「愛国心を育む心を養う」という方針を理解し、実践しようと考えているのでしょうか。教育長はこの方針の実践について、どのようにお考えでしょうか。
答弁内容	<p>国が定めた学習指導要領には、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を養うよう記載されており、教育委員会は、すべての教育活動を通して我が国と郷土を愛する態度を育むよう、各学校に対して指導しております。</p> <p>具体例を挙げますと、各学校では、社会科の授業において、我が国の政治や歴史、国際社会における役割を学ぶことを通して、国を愛する心情を育んでおります。</p> <p>また、道徳の授業において、我が国の郷土と伝統文化に関する教材を活用し、先人の功績や生き方について考えることを通して、国や郷土を愛する心を育んでおります。</p> <p>引き続き、教育委員会は、各学校に対して、学習指導要領に基づき、児童・生徒に自国を愛する心を育む実践を推進するよう、指導してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	(2)日本が世界最古の国であることを取り扱うことについて 【教育指導担当】
質問要旨	日本で世界最古の誇るべき国であると教えることが子どもたちに必要であるか否かについて、どのようにお考えでしょうか。
答弁内容	<p>教育委員会では、学習指導要領に、日本が世界最古の国であることを取り扱う記載が無いことから、教える必要があるとは捉えておりません。一方で、現代に語り継がれる神話は教科書にも記載されており、指導する必要があると考えております。</p> <p>具体的には、古事記や日本書紀に、日本列島が生まれる物語や神々が日本を治めていた物語などが記載されており、こうした国の起源には諸説あることを指導することは大切であると考えております。</p> <p>引き続き、教育委員会では、我が国の歴史には様々な見方や考え方があることを踏まえた上で、学習指導要領に基づいた教育を行うよう各学校に指導してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	7 御田小学校におけるスクールバスの使用について 【学務課】
質問要旨	スクールバスの使用について検討してほしいと思いますが、どのようにお考えでしょうか。
答弁内容	<p>教育委員会では、御田小学校の改築工事期間中、児童が学区域外の仮校舎に通学することになることから、スクールバスの使用についても、計画段階から検討を行ってまいりました。</p> <p>しかしながら、警察との協議では前面道路での乗降は難しく、学校敷地内で乗降する場合は、バスの停車・旋回場所に加え、スロープや児童待機場所等に、校庭の半分を使用する必要があり、学校運営上支障があるため断念しております。</p> <p>そのため、通学に公共交通機関を利用する児童には定期代を補助するとともに、ちいばす高輪ルートの朝の運行ダイヤが見直されております。また、東京都交通局とも協議を重ね、本年9月から登下校時の都営バスの運行がそれぞれ1便増便されております。</p> <p>引き続き、改築工事期間中の交通費補助と通学の安全対策に、学校と連携して取り組んでまいります。</p>

議員名(会派名)	野本 たつや議員(公明党議員団)
質問項目 【担当課】	7 都立学校施設の開放に向けた働きかけについて 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	東京都や都立学校に対し、学校開放事業の施設や種目の見直しなどについて、区として働きかけをしていくべきと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	教育委員会では、これまでも、東京都及び区内の各都立学校に対し、体育館の開放について要望してまいりましたが、セキュリティの関係上、外部への開放は難しいとのことでした。今後も、セキュリティの課題をどのように解決できるかも含め、都立学校の体育館の開放について粘り強く働きかけてまいります。
質問項目 【担当課】	8 活字を読む機会の重要性とその確保について 【教育指導担当】
質問要旨	港区内の小中学校では、読解力の向上のために読書時間や活字教材を活用する取り組みを現在どのように進めているか。また、今後、さらにこうした取り組みを推進していくべきと考えますが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	各学校では、教科書や読書教材などの活字を読み、文章の内容を理解し、自分の考えを深めることで、読解力の向上に努めております。 また、読解力を支える語彙力を育むため、学校司書と連携した読書活動を推進しており、学校図書館の年間貸出冊数は年々増え、紙媒体で情報を調べたり本を読んだりすることで活字に触れる機会が増加しております。 教育委員会は、デジタル機器を使用した学びを進める一方で、紙媒体を活用した取組を充実させ、読解力の向上のため活字を読む機会を確保していけるよう各学校を指導してまいります。
質問項目 【担当課】	9 学校給食に国産食材を活用することについて 【学務課】
質問要旨	港区の学校給食において、国産食材の活用をさらに推進する取り組みについて、教育長の見解を伺います。
答弁内容	学校給食では、これまでも、国産食材として入手し難しい小麦や魚介類などを除き、原則国産食材を使用しております。 また、連携自治体で生産された食材を使用し、地元の生産者と子どもたちの交流の機会を設けるなど、国内の農業や食材への理解を深める食育に取り組んでおります。 さらに年内には、農林水産省と連携自治体、オーガニック推進団体等の協力を得て、小中一貫教育校赤坂学園において、有機食材を活用したイベント給食の実施を予定しております。 今後もより一層、環境負荷の少ない有機食材を含めた国産食材を積極的に活用し、学校給食の魅力と価値を高めてまいります。

質問項目 【担当課】	10 学校給食の適正な食事時間の確保について 【教育指導担当】
質問要旨	学校給食の「適正な食事時間」について、どのような取り組みを行っていくのか、教育長の見解を伺います。
答弁内容	<p>各学校では、配膳や片付けの時間を含め、小学校で45分程度、中学校で30分程度の給食の時間を設定しております。この設定は、東京都全体の公立学校と同程度であり、適正な給食の時間を確保しているものと考えております。</p> <p>実際には、当日の学校行事等や献立の内容によって、食事の開始が予定より遅れる日もありますが、配膳や片付けの方法を工夫するなどして、適切な食事の時間を確保できるように努めております。</p> <p>今後、教育委員会では、給食時間内の時間配分に十分配慮し、子どもたちの意見を聞きながら、児童・生徒が落ち着いて食事できるよう、改めて各学校に対して指導してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	11 子どもの幸福度向上と権利教育の充実について 【教育指導担当】
質問要旨	港区において、子どもの権利教育をどのように位置づけ、具体的にどのような取り組みをすすめているのか。また、子どもの幸福度向上に向け、権利を日常生活で実感し、より実践する教育活動を進めていくための今後の方針について、教育長の見解を伺います。
答弁内容	<p>各学校では、子どもの権利に関する学習を社会科の授業等に位置付け、子どもたちが自他の持つ権利について考える機会を保障しております。</p> <p>また、授業外においても、次年度の学校の教育活動方針を定める際に、「子どもアンケート」を実施し、子どもたちの意見を学校教育に反映する取組を推進しております。</p> <p>さらに、教育委員会では、子どもの声を次期教育ビジョンに反映させるため、将来の夢や理想の世の中について、子どもへの意見聴取を行いました。来月12月9日は議場をお借りして「マイルスクールPRコンペティション」を開催し、在籍校や地域の魅力づくりに向けた活動を考え、実践していく取組を支援し、子どもたちが、地域の諸課題の解決に向けて社会に参画する力を育てています。</p> <p>今後、教育委員会では、これまでの取組をさらに強化し、タブレットルールや宿泊行事のきまりなどの生活上の問題について、子どもたちが主体となって解決していく取組を、各学校が積極的に実践できるよう指導してまいります。</p>

議員名(会派名)	山野井 つよし議員(立憲民主党議員団)
質問項目 【担当課】	12 幼稚園の魅力向上策について 【学務課】
質問要旨	幼稚園の魅力を向上を図り、就園希望者を増やしていくべきと考えますが、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	<p>区立幼稚園では、これまで、預かり保育の時間延長やネイティブティーチャーの全園への配置、弁当配送事業の開始等、魅力と利便性の向上を図ってまいりました。</p> <p>また、これらの取組に加え、質の高い教育活動や広い園庭といった魅力を効果的に発信するため、PR動画の積極的な活用や、3歳児健診通知への案内の同封、大使館あて入園案内のお知らせ等の新たな取組を進めております。</p> <p>今後も、より多くの方に幼稚園を選択していただけるよう、公私立幼稚園が連携して港区全体の幼稚園教育の振興を図ってまいります。</p>

質問項目 【担当課】	13 不登校の子どもへの支援について 【教育指導担当】
質問要旨	誰一人取り残さない学びの支援を実践するために、これまでとは異なる、具体的かつ実効性の高い取組が不可欠と考えますが、「Minato School」においては、今後どのように取り組むのか、教育長のお考えをお聞かせください。
答弁内容	<p>学びの多様化学校「Minato School」では、学校復帰を目的とした適応指導教室とは異なり、生徒の実態に合わせた小集団での学習や本物に触れる体験的活動を多く取り入れる予定です。</p> <p>具体的には、港区内の企業や大使館と連携したグローバルコミュニケーションを育むキャリア教育やみなと科学館と連携した体験型授業の実施、1日のスケジュールを確認し、無理なく学習を進めることができる個別の学習の時間の設定などを行ってまいります。</p> <p>引き続き、教育委員会では、来年度の開設に向け、不登校生徒一人ひとりの実態に配慮した教育を実施する準備を進めてまいります。</p>

一般質問(13問)

議員名(会派名)	ませ のりよし議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	2 海外派遣、中学校英語発表会の情報共有について 【教育人事企画課】
質問要旨	海外派遣報告会や中学校英語発表会などの発表内容を共有する仕組みについて、教育長のお考えをお聞きしたい。
答弁内容	<p>これまで海外派遣報告会や中学校英語発表会を観ることができたのは、会場に訪れた児童・生徒や保護者に限られておりましたが、来年度から、多くの児童・生徒が報告会や発表会の様子を見る機会を設けるようにしてまいります。具体的には、個人情報の取扱などに注意しながら、報告会や発表会の様子が分かるよう動画等を編集し、ダイジェスト版をオンデマンドで配信をすることを検討しています。</p> <p>今後、より多くの児童・生徒に、海外派遣や英語発表会での学習の成果を共有し、国際理解教育をさらに推進してまいります。</p>

議員名(会派名)	うかい 雅彦議員(自民党議員団)
質問項目 【担当課】	2 文化財についての教育委員会の考え方について 【図書文化財課】
質問要旨	私有財産を文化財として残す際の教育委員会の考えをお伺いいたします。
答弁内容	<p>文化財は、我が国の歴史、文化等の理解に欠くことのできないものであるとともに、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることから、教育委員会では、その保存と活用が適切に行われるよう努めております。</p> <p>私有財産である文化財の保存と活用にあたっては、文化財保護法や港区文化財保護条例の趣旨に沿い、関係者の所有権・財産権を尊重しながら、丁寧に調整を図ってまいります。</p>

議員名(会派名)	琴尾 みさと議員(みなと未来会議)
質問項目 【担当課】	2 区立幼稚園について (1)利用率の実態を踏まえた今後の方針について 【学務課】
質問要旨	幼稚園の利用率は実態として下がりつつありますが、幼稚園についてどのような方針で今後進めていくのか、教育長の見解を伺います。
答弁内容	区立幼稚園では、園児数が減少する一方で、アンケート結果等から、恵まれた施設環境や教育内容の質に高い評価があり、一定の入園ニーズがあると認識しております。 今後は、より多くの方に入園を検討していただけるよう、子どもの最善の利益を最優先に、社会情勢やニーズの変化も捉えた運営の在り方を検討するとともに、区立幼稚園の魅力等をより広く伝えるための情報発信の強化に取り組んでまいります。
質問項目 【担当課】	(2)子育てサポート保育の時間延長について 【学務課】
質問要旨	時代の変化に伴う人々のニーズに対応するため、公立幼稚園の子育てサポート保育の時間延長を更に実現するべきと考えますが、教育長の考えを伺います。
答弁内容	区立幼稚園では、令和7年度、にじのはし幼稚園で試行的に、子育てサポート保育の実施時間を30分延長し、午後5時30分までとする予定です。 今後、幼稚園教育振興の具体策を検討していくため、今年度内に、外部有識者や公私立幼稚園代表者等を交えた検討会を設置する予定です。 子育てサポート保育の更なる時間延長についても、本検討会の中で、にじのはし幼稚園の実施状況も踏まえ、利用者ニーズや時間延長に伴う幼児への影響等を検証しながら、検討してまいります。
質問項目 【担当課】	3 幼稚園型認定こども園の設置について 【学務課】
質問要旨	以前の質問において、幼稚園型認定こども園について調査研究するという答弁でしたが、現在も区の見解は変わらないでしょうか。また、幼稚園型認定こども園を設立するなど、共働き家庭も幼稚園に預けられる環境づくりについて、どのように考えているか、教育長の見解をお聞かせください。
答弁内容	区立幼稚園を幼稚園型認定こども園へ移行する場合には、給食実施等に伴う設備の確保といった施設的な課題など、認定を受けるための条件整備や解決すべき課題があります。 一方で、令和元年度に調査したアンケート調査では「幼稚園だからこそ通わせた」という意見等、幼稚園に対する固有のニーズも確認しております。 そのため、幼稚園型認定こども園については、引き続き調査研究していくとともに、今後、区立幼稚園の魅力を生かしつつ、共働き家庭ニーズに対応していくため、保育機能の拡充により、共働き家庭も安心して幼稚園に預けられるよう、環境づくりを進めてまいります。

質問項目 【担当課】	4 日本語学習機会の拡充について 【教育人事企画課】
質問要旨	日本語学級は、外国人の方の在住率が高い港区において、きめ細かい支援で大変助かっているという利用者の方の声を聞く一方で、日本語学級の生徒数の増加に教員が追いついておらず、子どもたちが十分に指導を受けられていないこともあったとの声もいただきました。日本語学習機会の充実を図ってみたいと考えますが、教育長の見解をお聞かせください。
答弁内容	<p>教育委員会では、小学校2校、中学校1校に日本語学級を設置し、一人ひとりの子どもたちの日本語の習得状況に応じた指導を行っております。近隣に日本語学級がない通級が困難である子どもたちに対しては、各学校において指導を受けることができるよう、日本語指導に専門性をもつ日本語適応指導員を派遣しております。</p> <p>また、区では、令和7年1月から日本語を母語としない小中学生を対象とした子ども向け日本語教室「みなと日本語ふれあいスペース～ことばの宝箱～」事業を開始します。</p> <p>日本語指導が必要な子どもたちが増加していることから、教育委員会では、各学校に派遣している日本語適応指導員の配置を充実させるとともに、地域人材の活用について検討を進め、日本語指導が必要なすべての子どもたちに指導できる体制を整えてまいります。</p>
質問項目 【担当課】	6 児童の登下校について (1)副籍交流を行っている学校への通学支援について 【教育指導担当】
質問要旨	どのような環境であっても学校に通いたいと望む児童・生徒が学校に通えるようにタクシーチケットやスクールカーなど、あらゆる手段を活用し、通学支援を行っていただきたいと思いますが、教育長の考えを伺います。
答弁内容	<p>各学校では、副籍制度に基づき、保護者の付き添いのもと、都立特別支援学校の児童・生徒を受け入れています。</p> <p>副籍交流は、一人ひとりの児童・生徒に応じて交流日時を設定し、交流先の副籍校も多岐にわたることから、スクールカー利用は難しいと考えておりますが、保護者のニーズを調査し、副籍登校にかかる具体的な支援策について検討してまいります。</p>
質問項目 【担当課】	(2)小学校の登下校の安全見守りシステムについて 【学務課】
質問要旨	全ての児童にはそれぞれ異なるリスクがありますが、あらゆる事故・犯罪から守れるシステムにしたいと思いますが、教育長の考えを伺います。
答弁内容	<p>教育委員会では、登下校中の児童の安全を守るため、小学校の新入学児童に対して防犯ブザーを配布しております。</p> <p>近年、GPSなどのICT技術を活用した様々な見守りシステムが普及していることから、児童の安全と保護者の安心につながる、より効果的で効率的な新たな見守りシステムの導入について、検討を進めてまいります。</p>

議員名(会派名)	根本 ゆう議員(維新・参政・Noblesse Oblige)
質問項目 【担当課】	2 区における「海洋教育」について (1)港区全体での「海洋教育」実施について 【教育指導担当】
質問要旨	阪南市の海洋教育の内容や小学校全校でのカリキュラム実施の事例を参考に、港区においても「運河学習」を基にしながら、水辺に親しみ、環境について考える機会となり、変化の激しい社会において、自ら考え生き抜く力を養う「海洋教育」を、地区限定ではなく実施いただくことを検討いただきたいのですが、教育長の見解を伺います。
答弁内容	現在、芝浦港南地区の学校では、運河学習や海苔づくりなど、海に面した立地を生かした学習を実施しております。 今後、他地区の児童・生徒でも港区の海について学ぶことができるよう、こうした取組を土台とした、区ならではの海洋教育の在り方について検討してまいります。
質問項目 【担当課】	(2)海洋教育において領土を扱うことについて 【教育指導担当】
質問要旨	海洋教育の一環として、尖閣諸島等の領土問題を扱うことについて、海に面する自治体として検討をいただきたく、教育長の見解を伺います。
答弁内容	小学校6年生以降の社会科で、日本の領土について扱うことは、国際社会における我が国の在り方について考える契機となっております。 尖閣諸島をはじめ、我が国固有の領域をめぐる問題や海洋資源を含む経済水域の問題などについて、理解を深めることは重要であると考えております。 今後、区ならではの海洋教育を考える際には、今回ご紹介いただいた副読本を参考とし、海に面した港区の特色を生かした教育内容について検討してまいります。

議員名(会派名)	福島 宏子議員(共産党議員団)
質問項目 【担当課】	6 人工芝のマイクロプラスチックの流出抑制について (1)区立の運動施設でも流出抑制対策を実施することについて 【生涯学習スポーツ振興課】
質問要旨	区立学校では排水溝に流出防止を行い、効果を上げています。区立の運動施設(麻布は実施)でも、流出抑制対策を実施すること。答弁を求めます。
答弁内容	麻布運動場に設置をしているマイクロプラスチックの流出抑制装置は、破断された人工芝やゴムチップ等が装置内に回収され、流出抑制に大きな効果が確認されたことから、人工芝を使用している他の5か所の区立運動施設についても、順次、設置をしてまいります。
質問項目 【担当課】	(2)人工芝の使用について 【学校施設担当】
質問要旨	今後は人工芝の使用をやめること。答弁を求めます。
答弁内容	天然芝は日照時間の確保や養生期間が必要であり、年間を通してグラウンドの使用ができないことから、教育委員会では、学校や運動場に人工芝を順次整備しております。 人工芝については、近年、各メーカーによる技術開発により、マイクロプラスチックの原因となる芝の破断やゴムチップの流出について対策が進められております。また、弾力性の向上や摩擦熱の低減、夏場における表面温度上昇の抑制なども進んでおり、機能性や環境配慮の面においても安全に使用できるものと考えております。

質問項目 【担当課】	13 貸付型奨学金の返済免除について 【教育長室】
質問要旨	給付型奨学金との公平性からみて、貸付型奨学金の返済を免除すること。答弁を求めます。
答弁内容	<p>令和3年度に返還不要の給付型奨学金を開始する際、制度間の公平性を図るため、貸付型奨学金に返還免除規定を導入しました。</p> <p>また、本定例会において、返還免除の要件を更に緩和するための条例改正案を提出しております。</p> <p>全ての貸付者に対する返還免除は考えておりませんが、返還が困難な方には、返還額の一時減額や返還猶予を行うなど、引き続き、きめ細かな対応に努めてまいります。</p>